|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 知識アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン | ⑴A　レボルバー　B　調節ねじ⑵　イ⑶　イ⑷　ウ | １ | ⑴　Aはレボルバー対物レンズを変えるときに，レボルバーを回す。Bは調節ねじピントを合わせるためにステージを上下させるときに使う。⑵　倍率の高い対物レンズほど長いので，プレパラートとのは近くなる。⑶　倍率が高くなるとせまい範囲を大きな像として見ることになる。このため，レンズを通して入る光が少なくなり視野は暗くなる。⑷　が入らないようにするためには，カバーガラスをからゆっくりとかぶせるようにする。ピンセットを使ってカバーガラスをかけるとよい。 |
| ２ | 知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　ウ⑵　被子（植物）⑶　光合成⑷　葉緑体⑸②　二酸化炭素　③　酸素⑹　道管⑺　気孔から葉に入る気体：酸素，葉の気孔から出る気体：二酸化炭素 | ２ | ⑴⑵　・図１の植物は，がめしべの根元にあるに包まれているので，植物である。・おしべのやくでつくられた花粉がめしべの柱頭につくことを受粉という。・受粉が起こると胚珠は成長して種子に，子房は果実になる。⑶〜⑹　・植物が光のエネルギーを利用して，水と二酸化炭素からデンプンをつくるはたらきを光合成といい，このとき酸素も発生する。・光合成は細胞の中の葉緑体で行われる。・光合成に必要な水は根から道管を通って葉まで運ばれる。二酸化炭素は空気中から葉のを通してとり入れる。・つくられたデンプンは水にとける物質につくりかえられ，師管を通って植物の体の各部へ運ばれる。⑺　・植物も動物と同様に，常に呼吸を行っている。・光合成が行われているとき，呼吸による気体の出入りより，光合成による気体の出入りが多いため，全体として，二酸化炭素をとり入れ酸素を出しているように見える。 |